



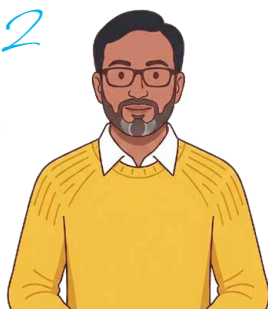
柳委員 (第9・10・12・13期)

Voice 1

「神奈川県で暮らす外国につながる子どもたちが、自分のルーツを大切に、自信をもって育ってほしい」そんな思いから会議に参加してきました。あなたが生活の中で感じている思いを、提言にして、神奈川県に届けましょう！

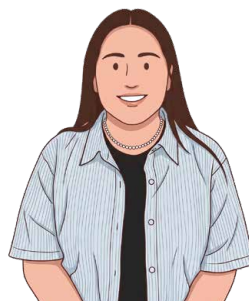
外国籍県民かながわ会議への参加は、私にとって多様な仲間との出会いや行政との対話を通じて大きく成長できた貴重な経験でした。自分の声や提案が県政にしっかりつながり、地域をより良くする一助になったことに大きなやりがいを感じています。あなたの経験や想いも、神奈川の未来をより良くする大きな力になります。ぜひ一歩踏み出し、共に多文化共生社会を築いていきましょう。

Voice 2



サリ委員 (第10・11期)

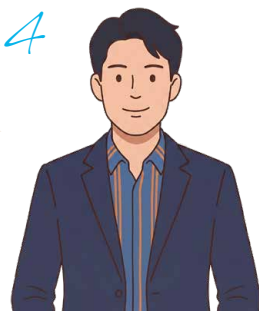
Voice 3



岩松委員 (第12期)

私は日本で生まれ育ちました。外国籍という立場で多くの方々や制度に支えられてきましたが、それを知ったのは成人後でした。その経験があったからこそ、今度は日本で暮らす外国籍の方々が安心して生活できる環境づくりに貢献したいです。皆さん一人ひとりの経験や思いは、神奈川をより良くする大切な力です。ぜひ一緒に、誰もが安心して暮らせる神奈川をつくっていきましょう。

Voice 4



韓委員 (第12・13期)

私たちが暮らす社会をより良くするには、外国籍住民を含む多くの人々の協力が必要です。文化や言語に慣れていない外国人にも暮らしやすいまちは、地域住民にとっても暮らしやすいはず。そんな思いで「外国籍県民かながわ会議」の活動を行っています。多国籍の委員と課題を検討し行政へ提言する、当事者の視点こそがまちを変える力になります。2か月に1回ほどの会議での対話が神奈川を良くします。ぜひご挑戦ください。

外国籍県民かながわ会議は、これまで34の国や地域の方が参加しています。(2026年8月現在)
〈近年の委員の出身国等〉
アメリカ、インド、インドネシア、カナダ、韓国、ケニア、セネガル、タイ、中国、朝鮮、ネパール、フィリピン、ブラジル、ベトナム、ペルー、ロシア等(五十音順)

お問い合わせ

神奈川県文化スポーツ観光局国際課 外国籍県民支援グループ

〒231-8588 横浜市中区日本大通1

TEL:045(285)0543 FAX:045(212)2753



神奈川県

KANAGAWA



神奈川県で生活する外国籍のみなさんへ
あなたの声を県に届けましょう！

対象

満18歳以上の神奈川県に在住(住んでいる)、在勤(働いている)、在学(勉強している)の方

必要性、仕組み *The Needs and How it works*

外国籍県民かながわ会議とは

外国籍県民の人たちが集まって、暮らしのなかでの課題などを話し合い、解決するための「提言」を作る会議です。外国籍県民が感じている課題を共有し、一緒に考えることで、外国につながる人も日本人も、みんなが活躍できる地域をめざします。

色々な国籍の15名が委員となります。

満18歳以上の神奈川県に在住（住んでいる）、

在勤（働いている）、在学（勉強している）

の外国籍の人が委員に応募できます。

任期は2年間です。

会議は2か月に1回、年7回程度、

土曜日または日曜日に行います。

場所は横浜市内が多いです。

※日にちや場所は、相談して

決めます。

15 committee members

色々な国の人と
知り合いになることが
できて、楽しいです。

会議の仕組み

他の委員と話し合い、神奈川県知事に「提言」を出します。その後、県の担当課が、提言の内容を実現させるために、検討をします。

提言までの流れ

1 興味のある人は、県の国際課のホームページなどを見て、自分で委員に応募します。

2 委員に選ばれたら、外国籍県民の感じる課題と解決策を考え、他の委員と話し合います。

3 専門家、現場の人や関心のある人と意見交換します。

4 解決策を提言としてまとめて、神奈川県知事に出します。

5 提言に関係する課が提言を実現させるために検討します。

実現へ



実現した提言（成果） *Implemented Proposals*

CASE 1 住むところが見つからない。
暮らしのルールがわからない。

実現した主な提言

居住支援システム

「かながわ外国人すまいサポートセンター」の設立

外国につながる人たちも、住むところを確保できるよう、多言語で住まい探しをサポートするセンターができました。



詳しくはこちらをアクセス →



CASE 3 高校入試はハードルが高い。
入学後、授業についていけるか心配。

実現した主な提言

在県外国人等特別募集(在県枠)の拡大

日本にきたばかりの外国につながりのある子どもが、高校に入学しやすくなりました。



詳しくはこちらをアクセス →



CASE 2 言葉が通じず、病気や治療についての説明がわからない。

実現した主な提言

医療通訳派遣システム事業

外国につながる人たちも安心して医療を受けられるように、医療通訳スタッフを病院に派遣するシステムを作りました。



詳しくはこちらをアクセス →



CASE 4 神奈川県のホームページは必要な情報が見つからない。

実現した主な提言

多言語情報ページ

外国につながる人たちの生活に役立つ情報を分類し、イラストや、多言語の自動翻訳機能を活用したページを作りました。



詳しくはこちらをアクセス →

